

設備工事情報シート	空 調	Ⅱ－A－18	制 定	2016年3月1日
			改 訂	
Ⅱ．メーカー情報	振れ止め支持金具 (クロスロック FL－Z)		因幡電機産業編	

1. 目的

振れ止め支持金具（クロスロックZタイプ）は地震時の機器の振れを抑制し、補強金具の取付により金具の外れによる機器の落下や、配管の断裂などの危険防止に威力を発揮。

2. 特徴

(1) 工具を使わずにワンタッチで、吊ボルト及び振れ抑制用全ネジボルトへ取り付け可能。
 工具未使用のワンタッチ施工より、ボルトナットによる締付けが無く施工時間が大幅に削減。

(2) 補強金具を取付ける事により、金具の緩みによる外れを防止。
 (市販のクリップ式のみ金具と異なり、脱落防止機能が付いて外れを防止)

(4) 取付後、ワンタッチで全ネジボルト上をスライド可能な為、金具本体の位置調整が容易。

(5) 本体（ステンレス）と補強金具（黄色クロメート）の色違いにより、遠目で金具着脱の把握可能。

(6) 交点金具を振れ抑制用全ネジボルトの、交点に取り付ける事で更に振れを抑制。

3. 仕様

型番	名称	セット明細	材質	適用全ネジボルト
FL-Z	クロスロック Zタイプ	FL-Z本体 1 個	SUS	W3/8
		補強金具 3 個	SPHC	
FL-XS	交点金具	FL-XS本体 1 個	SUS	W3/8
		補強金具 2 個	SPHC	

4. 振れ止め施工例（試験要領）

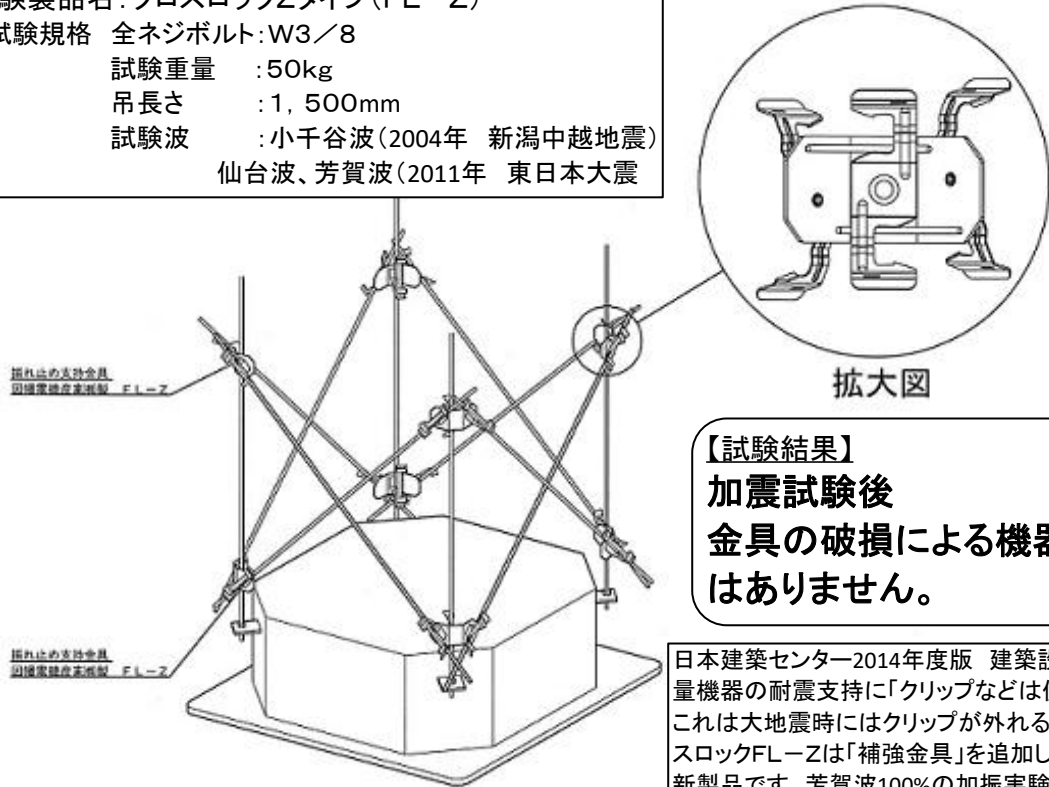
試験製品名：クロスロックZタイプ（FL－Z）

試験規格 全ネジボルト：W3／8

試験重量 ：50kg

吊長さ ：1, 500mm

試験波 ：小千谷波（2004年 新潟中越地震）
 仙台波、芳賀波（2011年 東日本大震



拡大図

【試験結果】

**加震試験後
金具の破損による機器の脱落
はありません。**

日本建築センター2014年度版 建築設備耐震設計では、吊軽量機器の耐震支持に「クリップなどは使用しない」とあります、これは大地震時にはクリップが外れることを意味します。クロスロックFL－Zは「補強金具」を追加してクリップの外れの無い新製品です。芳賀波100%の加振実験を行い、金具の損傷がないことを確認済です。

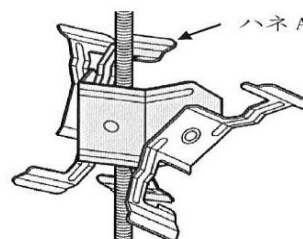
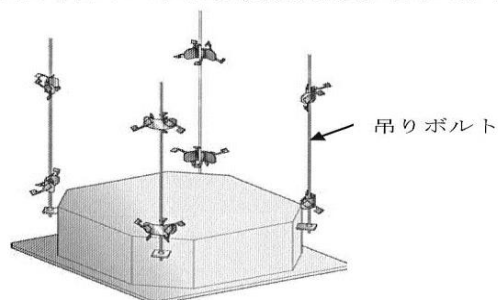
5. 使用上の注意点

- 最大重量 5 0 k g 以下（天井カセット4方向吹き出しタイプのみ）
- 吊高さ制限は 1, 5 0 0 mm 以下。
- 対応する全ネジボルトは 3 分（W3／8）のみ。
- 補強金具取付後の本体及び補強金具の再使用は不可。
 （補強金具は機器取付・位置調整後の一番最後に取付けをお願いします）

6. 施工手順

(1) 吊りボルトへの取付け

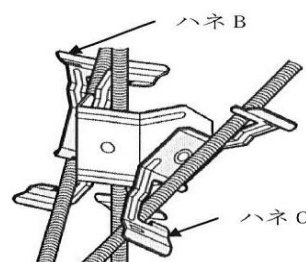
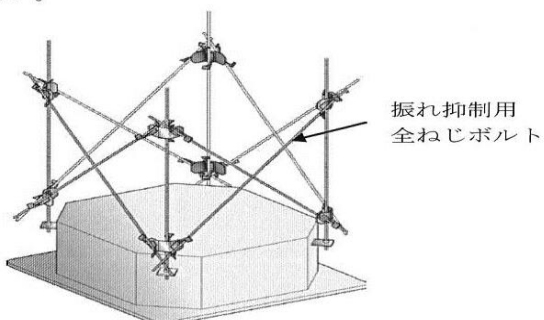
FL-Z 本体のハネ A を取付け位置に合わせ、吊りボルトに取付けます。



(2) 振れ抑制用全ねじボルトの取付け

FL-Z 本体のハネ B・C に振れ抑制用全ねじボルトを取付けます。

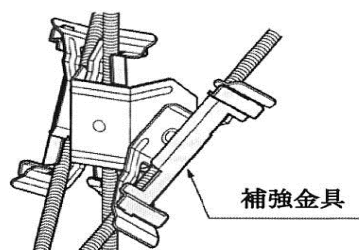
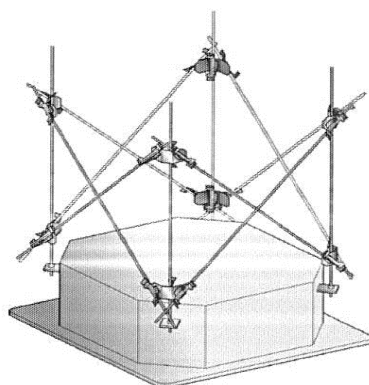
振れ抑制用全ねじボルトにたわみが無いように、製品の取付け位置を調整してください。



(3) 補強金具の取付け

FL-Z 本体のハネ A・B・C へ補強金具を取付けます。

なお、補強金具は、FL-Z 本体の取付け位置を微調整した後に取付けてください。



7. 問合わせ先

因幡電機産業（株） 因幡電工事業部

札幌営業所	(011) 209-1784	広島営業所	(082) 545-1132
仙台営業所	(022) 293-1785	九州1・2課	(092) 283-1785
関東営業所	(048) 642-1783	広域営業1課	(06) 4391-1713
首都圏1課	(03) 5783-1723	広域営業2課	(03) 5783-1722
首都圏2課	(03) 5783-1724	仙台推進課	(022) 293-1785
神奈川1・2課	(045) 470-1780	東京推進課	(03) 5783-1721
名古屋営業所	(052) 541-1780	名古屋推進	(052) 541-1780
金沢営業所	(076) 262-1783	大阪推進課	(06) 4391-1941
近畿1課	(06) 4391-1940	九州推進課	(092) 283-1785
近畿2課	(06) 4391-1732		